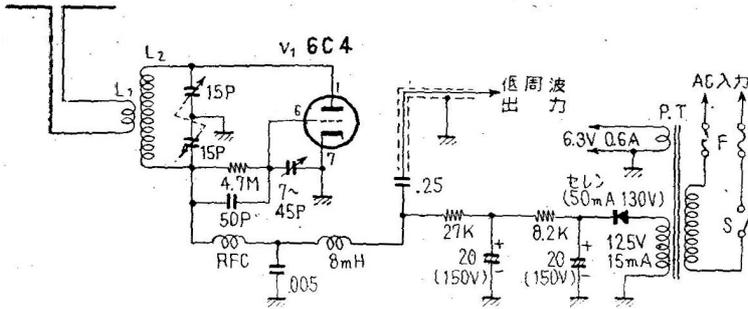


単球 FM チューナー

たった1球でFM放送が受信できるという便利なチューナー。FM電波の検波を考えるに、当然回路はご存知のスーパー方式ということになる。



非常に安価にFM放送を楽しもうとするには本機はまさにウツてつけということになる。

さて本機の受信周波数はいくつと、88~108Mcであるから、実験放送ながらわが国にもそのまま使用することが可能である。

回路はあまりにも簡単で驚くほどで、出力端子にクリスタル・レシーバーをつなげば、

直ちに受信もできるがアンプにつなぐようにすれば文句なしというところだ。

使用真空管は6C4の単球となれば電源回路も全く簡単の一語であろうが製作となると、扱う周波数が高いのでちょっと別問題だ。

ために実体図を付してみたので、一応は参考にされるがよい。

回路の要点について述べてみよう。アンテナはFM用の特別なものでなくわが国のテレビ用アンテナ(特にロー・チャンネル用)が好適であろう。

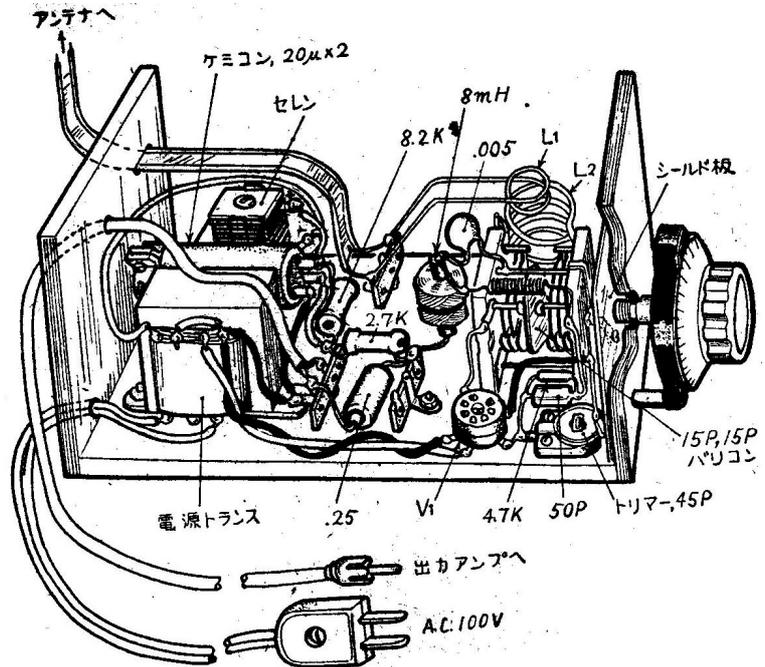
2連のバリコンはスプリット形、つまり固定極を二つに別けたものでもよいわけだが、ふつうの2連を使ってもよい。しかし前者のほうがボデー・エフェクトが少ないようだ。

電源回路は消費電流が少ないめで、簡単な半波整流で間に合う。

さて部品の説明に行こう。

〔高周波コイル, L_1, L_2 〕

全部図のように空心自立として、 L_1 は $\frac{3}{8}$ インチ直径で4番のエナメル線を1.5回、 L_2 は $\frac{1}{2}$ インチ直径に12番エナメル線を4.5回巻く。いずれも間隔巻き。



(『電波実験』1960年11月号,「海外技術ニュース」より.)